

萩医療圏地域医療構想病床機能等検討部会（平成30年度第2回）議事概要

【日時】平成30年12月6日（木）19:00～20:30

【場所】萩地域医療連携支援センター 2F 研修室

【出席者】市医師会長、病院関係者、市担当者 等

- 「地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策について」を踏まえた対応について説明を行った。
- 公立病院及びその他の病院について、地域医療構想の達成に向けた対応方針を協議した。

【議事内容】

- 1 「地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策について」を踏まえた対応について
県医療政策課から、国通知を踏まえた、地域医療構想アドバイザーの設置及び都道府県単位の地域医療構想調整会議について説明を行った。
(主な意見・質問等)
特に意見・質問等はなし
- 2 公立病院及びその他の医療機関の具体的対応方針の決定について
県医療政策課から、国通知を踏まえた、公立病院等の具体的対応方針の決定に係る協議方法について説明を行った。
(主な意見・質問等)
特に意見・質問等はなし
- 3 地域医療構想調整会議の協議事項に係る対応について
県医療政策課から、国通知を踏まえた、休棟等を有する個別医療機関の動向に係る対応について説明を行った。
(主な意見・質問等)
特に意見・質問等はなし
- 4 介護医療院への転換に係る支援について（情報提供）
県医療政策課から、介護医療院の概要、転換状況及び支援制度について、情報提供を行った。
(主な意見・質問等)
特に意見・質問等はなし

5 平成30年度在宅医療提供体制充実支援事業の取組状況（情報提供）

県医療政策課から、事業の内容や各医療圏での取組状況等について情報提供を行った。

（主な意見・質問等）

萩医療圏では、現在、医師会と行政が密に連携し、在宅医療機関相互の連携や多職種との連携、市民への普及啓発等に向け取組を進めているところであり、関係医療機関には協力をお願いする。

6 具体的対応方針の協議資料

公立病院（萩市民病院）、その他の病院（都志見病院、玉木病院、萩むらた病院、萩慈生病院、全真会病院）から、「医療機関2025プラン」等の今後の方針及び具体的な計画について、現在の状況も踏まえた説明を行った。

7 2025プラン・具体的対応方針に関する討議等

- これまで、回復期リハビリテーション対象患者のほとんどが他圏域に流出し、急性期から慢性期まで一貫した医療提供体制が構築できていなかったことから、在宅医療の後方支援の役割も合わせ、地域に回復期病床を確保していく必要がある。
- 地域の救急医療に対応するため、検査データの共有や他院満床時の入院引き受け等、輪番制病院間の連携を密にして対応している。
- 地域の急性期を担う病院の病床稼働率が低い状況にあるため、萩市民病院が2025プランに掲げる、地域の中核病院として民間病院・診療所との統合を含めた検討を、地域の最重要課題として取り組む必要がある。
- 山口・防府圏域の山口赤十字病院が、2025プランで、高度急性期・急性期機能に関し、萩圏域を補完する体制整備を掲げているが、構想区域を超えた広域で調整が必要な事項として、県単位の調整会議で協議することになるのか。
 - 山口赤十字病院の取組は、地域医療構想において課題として整理された、萩圏域に不足する機能の一部を担うものであり、県単位の調整会議の協議対象と考えていないが、萩圏域を補完する地域医療支援病院として、運営協議会で萩圏域の意見を反映すること等、検討部会の意見を伝える。